くらなが三協だより

発行
編集委員会
・倉永まち協
・民生児童委員
・倉永社協
令和4年夏季号

令和四年度 倉永まちづくり協議会 新たなスタート

令和四年四月に開催予定していました倉永校区まちづくり協議会総会が新型コロナの影響で書面決済となりました。

令和三年度の事業報告と決算報告及び令和四年度の新役員改選と事業計画および予算案が承認されましたことをご報告いたします。

これより新体制のもと、地域のまちづくりに努めてまいりますので、各地域の皆様方のご協力をお願いします。

◎役員・構成団体

【新役員および公民館館長】

会　長　井形　陽一　（元村）
副会長　泉　英明　（神屋原）
副会長　湯村　剛太郎
（倉永民生・児童委員）
副会長　徳永　春男
（倉永社会福祉協議会）
書　記　宮崎　昌朗
（警察補導員）
会　計　坂口　幸一
（下方公民館）
監　査　田中　祐隆（中中村）
監　査　坂口　浩平　（隈）
元村公民館長　井形　陽一
神屋原公民館長　泉　英明
下方公民館長　坂口　幸一
荒田比公民館長　徳永　義博
隈公民館長　坂口　浩平
下亀崎公民館長　古賀　勝彦
下中村公民館長　蓮尾　優
中中村公民館長　田中　祐隆
上中村公民館長　光安　裕正
内山公民館長　吉武　健一

【委員十二団体】

社会福祉協議会（徳永春男）・くらなが安心ネット（湯村剛太郎）、民生・児童委員（湯村剛太郎）、防犯組合（泉英明）、倉永小ＰＴＡ（田島寛啓）、甘木中ＰＴＡ（柿原慎吾）、警察補導員（宮崎昌朗）、少年センター指導員（斎藤勢一）、スポーツ推進委員（辻井秀治）、校区体育部長（調整中）、倉永生活循環バス運営協議会（徳永春男）、委員経験者（坂口幸一）

【関係六団体（運営委員会）】

倉永小学校（池田茂春）、甘木中学校（篠原信久）、倉永交番、吉野地区公民館（田中直美）、校区担当職員（深町和広）吉野地区地域包括センター（渡辺優）

【委員三団体（総会出席団体）】

交通安全協会、消防団（青柳恵士）、共同募金会（徳永春男）

【体育部長】

野田丈晴（元村）、田尻英喜（神屋原）、伊藤正士（内山）、原田勉（下方）、坂井繁光（下中村）、松尾賢一（荒田比）、江頭武純（隈）、世戸口春生（下亀崎）

【スポーツ推進委員】

辻井秀治（上中村）、今村圭児童（元村）、野田哲寛（内山）

【自治会・隣組（総会出席団体）】

市場山下（塩塚南州男）、上方1組（吉田繁）、上方2組（大谷光）、上方3組（藤岡憲）、上方4組（小川径司）、上方5組（髙山榮）、市場東自治会（平山光子）、東原団地（徳永司）、倉永駅前団地（永井勉）、暁台団地（坂井熊雄）、立野団地（原忠敬）、宮崎団地（牛川繁男）、新道（堤宣義）、元村5組（村上正義）、元村6組（山下洋子）、元村7組（荒木カヲル）

◎活動目標

① 安心で安全なまちづくり
防犯活動の活性化、ほっと安心ネットワーク活動の強化及び捜索活動体制の整備

②高齢者の住みよいまちづくり
倉永生活循環バス運営事業の実施

③子ども居場所づくり
青少年の健全育成活動の推進及び子ども見守り活動の強化

④環境に優しいまちづくり
地域における環境衛生活動の推進

⑤教育・文化のまちづくり
校区内における文化・体育事業の開催と行事への積極的参加

⑥倉永校区コミュニティーセンターの活用
サロン・サークル活動等の事業の充実

⑦倉永校区まちづくり協議会組織の強化
部会の整備、加入促進の強化、課題対策

◎協力・支援事業

○大牟田市校区コミュニティー連絡協議会：研究大会
○教育委員会関係：青少年健全育成大会、市民スポーツ大会
○交通安全関係
○募金関係：日赤募金・赤い羽根募金、歳末助け合い運動等
○倉永小学校との連携事業
○大牟田市まちづくり協議会関係：暴力追放大会

◎校区事業 行事・支援活動・関係団体事業

令和四年度の計画事業です。
（コロナ事情により変更される場合があります。）

令和四年度 計画事業

月	日	曜	事業内容
4			倉永まちづくり協議会総会書類決済
	23	土	第一回体育部長会議
5	22	土	倉永まつり中止
	29	日	公民館対抗グランドゴルフ大会
6	4	土	ため池点検（防犯組合）
	11	土	第一回運営委員会・体育部長意見交換会（甘木山ハイツ）
8	22	月	第二回体育部長会議
	29	月	出前血圧・血管年齢測定会・健康相談会（倉永コミセン）
9	1	木	三協だより第一号発行
	26	月	校区献血会（グッデイ駐車場）
			校区サロン合同研修会（倉永コミセン）
10	1	土	集団出前がん検診（明光学園）
	2	日	校区運動会
			五者連携教育講演会（倉永小）
11	6	日	混合ソフトバレー大会
	11	土	第二回運営委員会・体育部長意見交換会（倉永コミセン）
			スタンプラリー（社協・倉永小）
			福祉委員・民生児童委員合同研修会
12			門松づくり（倉永小・社協）
1			ウォーキング大会（社協）
2			大牟田市校区コミュニティー研究大会
3			防災・避難訓練（安心ネット）

倉永コミセン利用について

倉永校区コミュニティーセンター（以下、コミセンという）は市の施設で、倉永校区まちづくり協議会が管理運営を行っています。

施設利用については、倉永校区住民の地域活動や集会等にご利用できます。

このコミセンを利用される場合は、施設利用規程に基づき、所定用紙に手続きをすることで利用が出来ます。

ご利用される際は遠慮なく事務局まで一度ご相談下さい

平常時の在室曜日と時間は月・火・水・木・金の午後三時～四時まで。日祭日除きます。

〔利用問い合わせ先〕

倉永コミセン担当事務員（光安・古閑）☎三一-三四五〇

◎コミセンクラブ事業

次に、現在は四つのクラブが定例的に活動していますので紹介します。

○カフェ「笑」

毎月第三木曜日（十三時三十分～十五時）、高齢者の交流で、歌やゲーム等で楽しんでいます。

○子育てサロン「うさぎちゃん」

毎月第二と第四木曜日（十時～十一時三十分）、本の読聞かせ、手遊び、親子の交流、子育て相談。



○きらきら星「よかばい体操」

毎月第一と第三金曜日（十時～十一時三十分）、ストレッチを中心とした「よかばい体操」で、活き活き楽しい毎日を！



○放課後あすかり支援「あおぞら」

放課後預かり支援として、土曜、日曜、祭日及び春休み、夏休み、冬休みを除く児童の登校日の放課後において、一時預かりを行っています。





詳しくは倉永コミセン担当事務員（光安・古閑）まで

募金のお礼

赤い羽根募金は、倉永校区住民の方々（まち協加入公民館および自治会）や医療関連および一般の事業者、学校等からの寄付金で倉永校区社会福祉協議会で運用されています。

【令和三年度 寄付金実績 事業所・団体】

ありあけ新世▼石橋整形外科医院▼市場山下簡易郵便局▼㈲うえだ▼植田医院▼オートボディー宮脇▼倉永小学校▼倉永整骨院▼倉永郵便局▼さくら建設▼さくら薬局▼青龍保育園▼セブンイレブン倉永▼セブンイレブン橘▼田島オート▼永江歯科クリニック▼二宮医院▼東原産婦人科▼ひろアニマルクリニック▼水野工務店▼明光学園▼㈲メルヘン▼吉野園▼陽光台公園墓地▼ライフ坂口▼一般社団法人リード（五十音順）

ご協力ありがとうございました。

倉永生活循環バスだより

倉永まち協では、交通弱者に対応する支援事業の一環として、平成二十五年七月二十六日より「倉永生活循環バス」の運行運営を行っています。

この事業にあたっては、平素より深いご理解とご支援賜り厚くお礼申し上げます。

次に令和三年度の決算報告と利用状況を簡単にご報告します。

【令和三年度決算報告】

収入の部

項　目	決算額
繰越金	259,458
一般・登録者寄付金	558,320
事業者寄付金	200,000
まち協事業補助金	200,000
燃料費補助金	517,908
雑収入	0
利息	3
収入合計	1,735,699

支出の部

項　目	決算額
総務費	0
会議費	0
通信費	0
事務費	0
安全教育費	0
事業費	1,650,789
運転謝礼費	1,087,500
燃料費	563,289
車両整備費	0
消耗費	0
支出合計	1,650,789

次年度繰越金 ＝ 84,910円

【利用状況報告】

利用登録者数も百人前後を維持しており、令和四年七月二十二日の最終利用者の方で延べ五万人に達しました。

延べ五万人突破

倉永生活循環バス年度毎の延べ利用者数一覧

年度	単年度利用者数（人）	単年度累積利用者数（人）	単年度運行月数（月）	平均月毎利用者数（人/月）	備考欄
30年度	6,157	29,462	12	513	令和4年度は4月～7月までの実績です。
元年度	6,144	35,606	12	512	
2年度	6,081	41,687	12	507	
3年度	6,423	48,110	12	535	
4年度	2,049	50,159	4	512	

年度	単年度利用者数（人）	単年度累積利用者数（人）	単年度運行月数（月）	平均月毎利用者数（人/月）	備考欄
25年度	3,112	3,112	8	384	車両事故により、平成26年2月～7月13日まで運休
26年度	5,021	8,133	11	478	
27年度	4,006	12,139	9	466	
28年度	5,137	17,276	12	428	
29年度	6,029	23,305	12	502	



【ご利用等の問い合わせ先】
各地区の生活循環バス運営協議会委員または、事務局の徳永までご連絡ください。
（〇九〇－一三四六－五八七五）

公民館対抗グランドゴルフ大会



倉永まちづくり協議会主催の公民館対抗「グランドゴルフ大会」が五月二九日、倉永小学校運動場で開催されました。

参加チームは十チームで、十ホール、二ランドの男女混合で行われ、一打一打に注目が集まり、時にはため息もありましたが、ホールインワンが出ると大歓声があがり参加者は静かな闘志を燃やして、いい雰囲気で大会が行われました。

結果は、次の通りです。

優　勝：元村公民館
準優勝：上中村公民館
三　位：隈公民館

マイナンバー申請手続きについて

今回、倉永まち協で「マイナンバーカード出張申請窓口」を開設。申請希望者は事前申込み書の提出を八月三十日まで倉永コミセンに提出。

開設日時：令和四年九月三日（土）十四時～十六時
場　所：倉永コミセン

福祉委員任命報告

大牟田市社会福祉協議会から倉永校区（地区担当割）の福祉委員を委嘱する委嘱状が十二名（倉永の定員十七名）に交付されました。他の五名の方は手続中であり、委任状の交付後にご案内いたします。

十二名の福祉委員のご紹介

校区	担当地区	氏名
倉永	元村東	井上　登美世
倉永	元村西	永田　浩司
倉永	神屋原	池田　孝
倉永	内山	福山　千草
倉永	新道	蓮尾　喜久子
倉永	新道	向坂　啓子
倉永	上方	田中　一則
倉永	上中村	高巣　小夜子
倉永	中中村	松尾　勇篤
倉永	下中村	山本　守子
倉永	隈	高田　仁美
倉永	市場山下	杉野　静香

福祉委員は
① 小地域ネットワーク活動の推進
② 地域内生活課題の発見
③ 地域福祉活動や福祉情報を広める啓発

以上が主な役割を担っております。任期は令和四年七月一日～令和六年六月三十日までの二年間です。

地域の方々のご協力をよろしくお願いします。

健康は最大の福祉

今年４月に大牟田市は福祉部に「健康づくり課」を設置し、病気の予防対策を主体に健康づくり・重症化予防等を一体的に進めることで健康づくりの充実を図るものです。

具体的には、市民の健康意識の向上を図る目的で、健康づくりモデル校区（三校区）を定め、地域との連携強化を図る事で、地域の健康づくりに広く寄与するものと考えます。

このモデル校区に倉永校区が指定されました。

指定を受けたことで、行政は保健師や管理栄養士をモデル校区に派遣し、在宅訪問での健康相談や出前健康講座、簡単な健康チェック（血圧測定や血管年齢測定等）後の健康相談会を開催し、積極的な健康対策を倉永校区の地域力も併せて健康づくりを啓発していきます。

新型コロナウイルス感染状況もありますが、「健康は最大の福祉」をスローガンに、今後、積極的な健康づくりを自分のために、そして人もためにも取り組んでいきましょう。

明光学園に行こう

健康の意識づけの第一歩は健康診断です。大牟田市から該当者に対して「集団出前健診」の案内が届いています。早急に再度確認していただき積極的にがん検診を受診して下さい。

【申し込み締切り日】
令和四年九月二日（金）必着

【日時】令和四年十月一日（土）、受付時間午前八時三十分から十一時まで

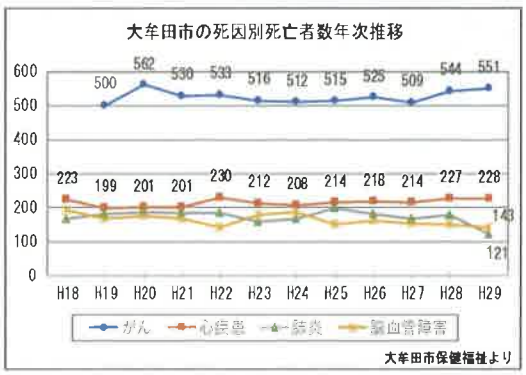
【場所】明光学園

【がん検診項目】

診断種別		対象者	定員	自己負担	検診内容
胃がん検診		40歳以上	40	500円	問診、胃部X線撮影、※ﾊﾞﾘｳﾑ検査
大腸がん検診		40歳以上	定員なし	400円	便潜血検査（自宅で2日採取）
肺がん検診		40歳以上 65歳以上は結核検診含	40	500円 65歳以上無料	問診、胸部X線撮影かく痰検査
乳がん検診	ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ1方向	50歳以上	両健診合わせて40	1,000円	問診、ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ1方向
	ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ2方向	40～49歳		500円	問診、ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ2方向
子宮頸がん検診		20歳以上		500円	問診、内診、細胞診
国保特定検診 （20代30代・後期高齢者・生保等検診含）		20歳～75歳の国保加入者後期k者齢者医療加入者生活程受給者等	40	500円	身長、体重、検尿、採決など

【問合わせ先】
大牟田市健康づくり課
☎四一―二六六八

大牟田市の死因別死亡者数の年次推移（左図参照）でみてみると、死因の第1位は悪性新生物（がん）、続いて2位が心疾患、3位が脳血管疾患となっています。

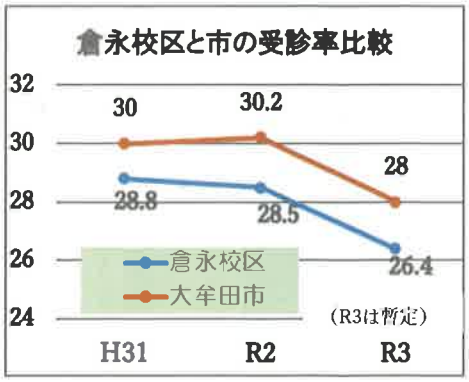


尚、平成二九年の死亡者数は一、八八二人でしたが、全体の約三割が「がん」で亡くなっていることになり、上位3位までは、生活習慣が大きく関わっている疾患で、全国的にも同じ傾向にあります。

国保の特定健診受診率から倉永校区と受診率比較（下図参照）で倉永校区は市の平均値を下回っています。

車も安全・快適に走れるためには定期点検が必要です。

私たちの身体も定期健診で健康状態を確認して、安心して生活することが大切です。



『十月一日は、明光学園で開催される集団健診に行こう。』

地域コミュニティ自由選択メニューと地域提案型の事業案内

大牟田市は地域活性化および共助の観点から、地域に根差した活動や行政サービスの促進を図るために自由選択メニュー（行政が準備したメニュー）と地域提案型（地域独自メニュー）の事業を倉永校区として積極的に取り組んで行きます。

簡単ですが今年度の取り組む各事業を報告します。

自由選択・地域提案型事業

No.	自由選択事業名	担当
1	地域の児童・生徒・学生の学習応援メニュー	まち協
2	校区間親睦交流メニュー	まち協
3	道路花いっぱい・環境美化運動メニュー（市道等）	社協
4	空家実態調査メニュー	まち協
5	わが街プロモーションメニュー（地域情報発信メニュー）	まち協
6	地域子育て応援交流メニュー	まち協
7	地域ESD推進事業～次世代の担い手発掘メニュー～	まち協
8	地域交流の場サポートメニュー	まち協
9	マイナンバーカード普及啓発メニュー	まち協
10	健康づくり活動メニュー	社協
11	食育講座メニュー（講話と調理実習）	社協
12	ずっと元気でいるために、年に1回は健診へ行こうメニュー	社協
13	災害時に避難が遅れることのない地域へ～要配慮者の避難支援体制つくり～	社協・民児協

No.	地域提案型事業名	担当
1	地域の歴史文化の再発見事業	社協

「三協だより」問合せ先

○倉永校区永まちづくり協議会
☎ 090-9793-5619（井形　陽一）
☎ 090-3191-4268（泉　英明）
○倉永校区民生児童委員協議会
☎ 090-9408-9214（湯村　剛太郎）
○倉永校区社会福祉協議会
☎ 090-5022-7897（徳永　春男）

編集責任者：徳永　春男

【編集後記】身近な地域行事の情報提供をお願いします。